

会 議 録

会 議 名	第 3 6 期小金井市公民館運営審議会第 5 回審議会（要点記録）		
事 務 局	公民館		
開 催 日 時	令和 4 年 4 月 1 3 日（水）午前 1 0 時 0 0 分から午前 1 1 時 3 5 分		
開 催 場 所	小金井市役所第二庁舎 8 階 8 0 1 会議室		
出 席 委 員	渡邊委員長 新井副委員長 大久保委員 川原委員 嵯峨山委員 橋本委員 坂内委員 本川委員 吉田委員		
欠 席 委 員	浅野委員		
事 務 局 員	鈴木公民館長 渡辺庶務係長 大久保事業係長 落合主査 松本主任（貫井南分館長） 山崎主任（緑分館長）		
貫井北・東分館事業運営受託者	N P O 法人市民の図書館・公民館こがねい 鈴木東分館長 村山貫井北分館長		
傍 聴 の 可 否	可	傍 聴 者 数	2 名
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	<p>1 報告事項</p> <p>ア 職員の異動について</p> <p>イ 令和 4 年度公民館歳出予算について</p> <p>ウ 公民館事業の報告について</p> <p>2 協議事項</p> <p>ア 公民館重点施策について</p> <p>3 審議事項</p> <p>ア 公民館事業の計画について</p> <p>4 その他について</p> <p>配付資料</p> <p>送付資料</p> <p>(1) 次第</p> <p>(2) 令和 4 年度公民館歳出予算</p> <p>(3) 公民館事業の報告</p> <p>(4) 公民館事業の計画</p> <p>(5) 令和 4 年度公民館重点施策</p>		

## 会 議 結 果

### 次第1 報告事項

#### (1) 職員の異動について

##### 【鈴木公民館長】

- ・4月1日付けで生涯学習部長、庶務係長の人事異動があった。合わせて、新規採用職員を緑分館に配置した。

### 次第1 報告事項

#### (2) 令和4年度公民館歳出予算について

##### 【渡辺庶務係長】

- ・令和4年度公民館歳出予算について、事業No.2 公民館維持管理に要する経費については、工事費の減、最低賃金の見直しによる小金井市シルバー人材センターの委託料の増となる。その他、各事業の予算については、資料をご覧いただきたい。

##### 【川原委員】

- ・保育士謝礼は、前年度の講座が決まった段階で、保育のための予算が確保されることになるのか。それとも、予め、館ごとに割り当てられるのか。企画した館が、保育が必要な場合に予算を要求して、予算が確保されることになるのか。
- ・NPO法人に委託している東分館と貫井北分館は保育付き講座が多い。直営館と委託館とで違いはあるのか。
- ・講座の企画内容などに、各館に偏りがあるように思う。地域の特徴として捉えることもできるが、例えば、貫井南分館は児童館と併設しており、保育付き講座があってもよい。

##### 【鈴木公民館長】

- ・予算要求の時期と事業の詳細を検討する時期とでタイムラグもあり、必ずしも、全ての事業に必要な予算が割り当てられているわけではないが、ある程度、関係部局などとも調整のうえ、適切に事業実施している。
- ・委託館と直営館とは、予算配分等は異なるが、基本的には同様に事業実施しているものと認識している。

##### 【大久保委員】

- ・図書館も公民館も、子ども連れで行ける雰囲気があるとよい。親子で参加できるような見守り程度の保育があるとよい。改正育児・介護休業法が4月から施行され、男女ともに育休を利用しやすくなるであろうし、また、働き方も変わってきており、多世代で性別に関わらず参加できる講座があるとよい。

##### 【新井副委員長】

- ・今後の公民館事業では、さらに性別や世代を超えて対象者を広げることが求められる。今後の議論の資料として、保育の割合を提供していただきたい。

##### 【嵯峨山委員】

- ・公民館のW i - F i 環境について伺いたい。

**【鈴木公民館長】**

- ・緑分館と東分館と貫井北分館については地域防災上の施設に位置づけられており、防災関連の予算によりW i - F i 環境が整備されている。本館と貫井南分館については、公民館予算においてW i - F i 環境を整備している。現段階では、新たにW i - F i 環境を増設するような予算は含まれていない。

**【坂内委員】**

- ・公民館・図書館連携事業は予算上、どこに含まれるか。

**【渡辺庶務係長】**

- ・事業No.9のその他公民館事業に要する経費に含まれており、NPO法人の人件費や事業費が計上されている。NPO法人は、業務委託仕様書に基づき、予算の範囲内で講座を実施している。

**【渡邊委員長】**

- ・事業No.9の業務内容と予算項目について、資料として提出すること。

次第1 報告事項

(3) 公民館事業の報告について

**【大久保事業係長】**

- ・前回の審議会以降、各館で終了した事業の報告を取りまとめたものである。詳細は資料をご覧ください。

**【村山貫井北分館長】**

- ・前回の審議会で、新井副委員長から貫井北分館の特徴、注力している取組みについて、質問をいただいた。はじめに貫井北分館の特徴について、主催講座を中心に説明すると、他の館にない特徴として、青年教育事業の中で、青少年教育講座という柱を設定している。小学生から大体25歳ぐらいの方々を対象にした講座を展開している。
- ・公民館の役割の1つに社会福祉の増進というものがあり、認知症カフェなどの講座を開催している。認知症カフェは公民館を使った屋内での座談会や、屋外での活動として、地域で見守るという観点で地域を回るアウトドア認知症カフェも実施している。
- ・図書館貫井北分室との連携事業にも力を入れている。
- ・サポーター制度として、貫井北分館は、講座等で一般的な知識、専門知識を学んだ方々が、保育サポーター、花サポーター、介護者サポーター、<sup>ヤングアダルト</sup>YAサポーターといった形で、職員4人に加えて、サポーターを全部集めると62人の方が一緒に公民館を支えている。講座を学んだ後、それを地域に還元する取組みを行っている。

**【川原委員】**

- ・NPO法人の委託館は、社会教育の勉強をされている方が専門で配置されており、直

営館は公民館経験が全くない職員が各館に配属されている。一般的には貫井北分館に近い人は貫井北分館に行くし、坂下の人は貫井南分館に行く。利用する市民にとっては、委託館と直営館の違いを分かってない人もいる。職員として公民館に配属されるのであれば、社会教育とか生涯学習とかの知識を身に着ける必要があるのではないか。

**【吉田委員】**

- ・貫井北分館はかなり、活躍されている、活動が活発ということを高く評価している。

**【鈴木公民館長】**

- ・各館の特色、特徴あるいは地域の特性などを活かして、例えば、どこそこの館の講座はちょっと遠いけど行ってみようかと思えるような企画、講座等を考えていく必要があると思っている。
- ・職員の育成については、我々も重要なことだと考えている。令和4年度の重点施策の中に新たに公民館職員育成という項目を入れており、専門性を持った職員を配置し経験を積み重ねて、それを継承していくことは重要である。今回の重点施策に、新たに加えることで、令和4年度以降も、職員の育成や配置についての考え方を深めるような取組みを考えている。
- ・それから、NPO法人への委託については、公民館中長期計画において、緑分館と貫井南分館の市民協働型の委託を進めていくことになる。ただし、委託化を進めるに当たっては、課題の整理が必要となる。具体的な実施時期まで確定したものではないが、現段階では、そのような状況となっている。

**【大久保委員】**

- ・どこで何をやるかということも大事だと思うが、距離、ロケーション、時間帯、費用対効果なども含めて、参加のし易さや期待度などを考慮すると、いまは市の中心部が武蔵小金井周辺になると思うが、アクセスもしやすく、フェスティバルコートやSOCOLAの広場で、消防団の出初式などのイベントが開催されている。行くほうとしては、中心部だと行きやすい。
- ・好評だったものは継続して、参加者が増えるような取組みもできるのではないか。

**【川原委員】**

- ・高齢の方などは、中心部にいくことが大変であり、近くの公民館は居場所だったりもする。そのような視点でも考える必要がある。

**【鈴木公民館長】**

- ・市の中心部にあったほうが良いという意見と、地域の特性を考慮して地域にあったほうが良いという意見があった。色々と考え方はあるかと思うが、これまでの経過として、現行の5館体制で、社会教育施設としての公民館を運営していくことになる。
- ・例えば、講座に行きたいけれど、現在のように外出が難しい状況や子どもが小さいなどの理由で参加が難しい方は中長期計画にあるようにICTの活用で参加することも可能になると考えている。

- ・市としては、公民館は集まって、参加していただくことが基本だと認識しており、例えば、タイミング的に参加が難しいような場合にはICTで補完するような取組みを進めていきたいと考えている。

## 次第2 協議事項

### (1) 公民館重点施策について

#### 【鈴木公民館長】

- ・令和4年度は6項目を公民館重点施策として位置づけた。5. ICTの活用については、Wi-Fi環境が一定整備されたことから、公民館に来ることが困難な方などを対象に、令和4年度から講座管理システムを試行的に実施する予定である。また、職員の育成についても、先進市の研究を行うとともに、各種研修に参加するなど、職員の育成やスキルアップに努めてまいりたい。
- ・詳細は資料をご覧ください。

#### 【嵯峨山委員】

- ・36期では貫井南分館と緑分館の委託については、どのような状況にあるか伺いたい。

#### 【鈴木公民館長】

- ・公民館中長期計画の中で、委託に当たって解決すべき課題が示されているので、課題解決を図りながら事業運営委託の方向で検討を進めたい。
- ・36期の公運審の中で中長期計画をお示しして、説明させていただく場を設ける必要もあるかと考えている。正副委員長とも御相談させていただきたい。

#### 【大久保委員】

- ・小金井市立小中学校PTA連合会の代表として参加しており、地域学校支援本部や放課後子ども支援推進事業などに取り組んでいる。コミュニティ・スクールが始まっている地域もあり、今後は学校や家庭や地域との連携を公民館にも促進して欲しいという思いがある。例えば、公民館で講座をしている講師の方が小学校や中学校の出前講座の講師になるとか、公民館活動が地域や学校に入っていけるような取組みがあるとよい。

#### 【鈴木公民館長】

- ・コミュニティ・スクールは、緑小で最初に始めており、緑分館にも相談があったと伺っている。公民館としても、アウトリーチの取組みや利用者の拡大、広い層の社会教育への参加というのは重要な視点だと考えている。学校運営協議会や地域学校支援本部などの状況も注視して対応したい。

#### 【川原委員】

- ・私も放課後子ども教室のスタッフをやっているが、人手が足りておらず、子どもたちを見守るサポーターの人数も減ってきている。他市では、高齢者の方、公民館、リタイアした方々など、地域の人たちがいっぱい入ってきて、毎日、放課後子ども教室が

できている。

- ・中学生の居場所がすごく少ないように感じる。そういう意味で、ユースセンターのようなものをつくっている自治体もあり、小金井でも中学生の居場所についても、これから考えていかなければいけない。それが公民館なのか、ユースセンターなのか。地域全体で子育てる取組みや、高齢者と小学生など多世代の交流の場をつくる取組みなど、今後、コミュニティ・スクールが全校に広がっていくことになると思うので、公民館としても働きかけて、居場所づくりを推進していくべきだと感じている。

#### 【嵯峨山委員】

- ・日野市で出前公民「観」というのがある。公民館の在り方というのが、今まで待ちの状態から、外へ出ていくというのも、今後の1つの形ではないかなというふうに感じている。

### 次第3 審議事項

#### (1) 公民館事業の計画について

##### 【大久保事業係長】

- ・今回は各館から計15事業の計画を提出している。資料を御覧のうえ、御審議をお願いします。

##### 【川原委員】

- ・少年教育や成人教育など、事業ごとに予算の枠は決まっているのか。予算の大枠が決められており、予算配分に合わせた形で講座を割り振っているのか。

##### 【鈴木公民館長】

- ・予算は、各事業の例年の状況や前年度実績などをベースに要求し、予算措置している。

##### 【大久保事業係長】

- ・公民館事業の各講座の種別について、成人教育事業は「子どもの人権講座」、「市民アカデミー」、「市民講座」、「成人学校」など講座の分類、カテゴリーを分けている。例えば、「市民講座」は、地域課題や生活課題をより深く取り上げ、課題解決のきっかけになるような自己学習、相互学習の場として昭和45年から実施している。「成人学校」は、日常生活に役立つ知識や技術の向上を図るとともに、文化創造を通じた相互交流と親睦を目的として昭和46年から実施している。

##### 【新井副委員長】

- ・社会教育は内容が多種多様で、生活に密着したことを市民が自由に学習活動を行うものである。そのため、学校教育に比べると、教育活動とか学習活動の種類が多様になる。社会教育の学習者は成人・社会人なので、社会変化や政治情勢などに応じて、学びたいことがさらに広がる。

しかし、そのままでは、組織的な教育としては成り立ちにくので、学ぶ目的や意味、理由を明確にし、学習内容・方法を決定する。すなわち計画していくということが、公民館の役割でもあり、市職員の力量の一つになる少年教育事業は、少年教育事業と

しての目的があり、各事業についても同様に、青年教育事業、男女共同参画、成人教育事業それぞれの目的を持ち、目的の実現を目指した事業が計画され、実施されるのが本来の形である。本日、示された公民館事業もこれまでの活動の経過なども踏まえ、事業目的に沿った形で行われていると思う。公民館事業の計画の審議の際には、事業の目的は何か、その実現に向けて事業が計画・実施されているかと観点から議論することが重要だと考える。

**【渡邊委員長】**

- ・ほかに御意見がなければ、承認ということでよいか。

(異議なし)

次第4 その他について

**【橋本委員】**

- ・今後、オンラインで開催する可能性はあるか。

**【鈴木公民館長】**

- ・コロナの状況によってはあり得ると思うが、基本的には本日のような形で行うことが基本であると考えます。

**【渡邊委員長】**

- ・次回の開催等について、事務局からお願いします。

**【鈴木公民館長】**

- ・次回は5月11日の午前10時から。場所は市役所本庁舎3階第一会議室となる。

**【渡邊委員長】**

- ・以上で第5回審議会を終了する。

— 了 —

# 第36期小金井市公民館運営審議会第5回審議会

令和4年4月13日（水）午前10時～  
小金井市市第二庁舎8階 801会議室

## 次 第

- 1 報告事項
  - (1) 職員の異動について
  - (2) 令和4年度公民館歳出予算について
  - (3) 公民館事業の報告について
- 2 協議事項
  - (1) 公民館重点施策について
- 3 審議事項
  - (1) 公民館事業の計画について
- 4 その他について



令和4年4月13日

## 令和4年度公民館歳出予算

(単位：千円)

	事業名称	A) 04年度 当初予算額	構成比	B) 03年度 当初予算額	増減額 (A-B)	主な増減理由
1	公民館運営審議会等に要する経費	3,037	1.51%	3,036	1	
2	公民館維持管理に要する経費	71,179	35.41%	78,207	△ 7,028	・減) 貫井南分館受水設備改修工事、東分館ステップリフト改修工事等 (令和3年度に完了のため) ・増) 緊急修繕料(8万円×5館→50万円×5館)
3	少年教育事業に要する経費	142	0.07%	96	46	・増) 子ども体験講座保育士謝礼を新規に措置
4	青年教育事業に要する経費	2,994	1.49%	2,985	9	・増) 交通費等増額分
5	男女共同参画に要する経費	450	0.22%	447	3	・増) 保育士謝礼(1,240⇒1,270円)
6	成人教育事業に要する経費	5,312	2.64%	3,810	1,502	・増) マイクロバス委託料が庶務課から公民館へ移行
7	文化活動事業に要する経費	260	0.13%	223	37	・増) 音楽のつどい保育士謝礼を新規に措置
8	視聴覚ライブラリー事業に要する経費	605	0.30%	605	0	
9	その他公民館事業に要する経費	115,428	57.42%	114,620	808	・増) 講座管理システム機器等借上料を新規に措置 ・増) 備品購入費(ワイヤレスアンプ)を新規に措置
10	ITサポート事業に要する経費	1,606	0.80%	1,607	△ 1	
	合計	201,013	100%	205,636	△ 4,623	

公民館事業の報告

公民館名	事業名		頁	
本館	青年学級「みんなの会」		1～2	
	成人学校「菜園教室」		3	
	市民講座「冬をのりこえる温活講座」		4	
貫井南分館	成人学校「革を裁断、縫製 レザークラフト講座～眼鏡ケース製作～Vol.2」		5	
	市民講座「野外活動体験から防災・環境知識を楽しく学ぶ」		6	
	音楽鑑賞のつどい「管楽器アンサンブル 午後のひととき」		7	
東分館	少年教育事業「ひがし子ども囲碁教室」		8	
	成人学校（公民館・図書館連携事業）「家読（うちどく）のススめ～家族で楽しむ読書のひととき～」		9	
緑分館	子ども体験講座「プロマジシャンが教える親子で楽しむマジック教室」		10	
貫井北分館	青少年教育事業	若者による自主講座	「森のボードゲーム この木、育つ木、売れる木です」	11
			「木育ガール キキちゃんとマイ木琴を作ろう！～木育×STEAM教育」	12
		世代間交流の推進	「サイエンス・カフェ どうなる？月開発の未来～みんなで考え、語り合おう～」	13
			「サイエンス・カフェ コミュニケーションを科学する～だれもが暮らしやすい社会のこと～」	14
	男女共同参画事業「きたまち保育サポーターによる保育」		15	
	成人学校「きたまちセンターの花づくり・緑化活動 きたまちセンターの花サポーター講座」		16	
	市民講座「地域福祉のための講座アウトドア認知症カフェぬくいきた」		17	
	図書館貫井北分室・公民館貫井北分館連携事業	きたまちYAサポーター・きたまちYAひろば		18
		本の世界をめぐる冒険～ナカムラクニオさんと「場作り体験」を学ぼう～		19
		「死」と「生」を絵本で語り合うデスカフェ		20

# 本 館

青年学級	みんなの会
------	-------

**目 的** 障がいのある人を対象に、自立に必要な知識・技能を学ぶ機会を提供するとともに、スポーツ、芸術、レクリエーション等を楽しみながら学級生同士の交流と親睦を図る。

**日程・内容** 令和3年4月11日（日）から令和4年3月27日（日）までの間の毎月第2週及び第4週の日曜日。午後1時から4時まで。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため2グループに分かれての活動に変更し、拡大防止を図った。  
活動の内容（実績）は、別紙のとおり

**場 所** 公民館緑分館、小金井市障害者福祉センター、都立小金井公園

**講 師 等** 矢野 典嗣さん（元都立小金井特別支援学校教諭）  
ボランティアスタッフ 18人

**募集方法** 緊急事態宣言解除後に、講師と面談を行い新規加入者を受け入れた

**人 数** 定 員 50人  
学級生 42人  
延べ参加者 173人

**担当企画実行委員** なし

**担当職員** 大久保 裕広



**担当職員感想** 昨年度から引き続きコロナ禍での実施となった。障がいを持つ学級生や高齢となったボランティア・スタッフの感染防止を念頭に置き、講師と調整のうえ安心・安全な活動を心掛けた。このため、全員が一度に集まれなかったり、毎年楽しみにしていたサマーキャンプ、社会見学、修学旅行等を中止せざるを得ない状況で、非常に心苦しい状況であった。

感染防止策として行っている入室時の手指消毒や活動終了後の机、椅子等の消毒には、ボランティア・スタッフの皆さんに協力をいただき厚く御礼申し上げます。

## 令和3年度みんなの会活動の結果

年度当初の計画				実績		参加人数	
回次	開講日	活動内容	活動場所	活動内容	活動場所		
1	4月11日(日)	A組	開級式	グリーンピア	計画どおり実施		10人
2	4月25日(日)	B組			<中止>		—
3	5月9日(日)	A組	オリエンテーリング	小金井公園	<中止>		—
4	5月23日(日)	B組			<中止>		—
—	6月6日(日)	保護者会(バスハイク)		公民館緑分館(午前9時～午後1時)	<中止>		—
5	6月13日(日)	A組	俳句・謎解き	公民館緑分館	<中止>		—
6	6月27日(日)	B組			(B組)開級式	公民館緑分館	5人
7	7月11日(日)	A組	防災学習	グリーンピア	(A組)俳句・謎解き	グリーンピア	15人
8	7月25日(日)	B組			<中止>		—
9	8月7日(土)※1	A組	ボッチャ競技	公民館緑分館	<中止>		—
10	8月8日(日)※1	B組			<中止>		—
11	9月12日(日)	A組	俳句・謎解き	グリーンピア	<中止>		—
12	9月26日(日)	B組			<中止>		—
13	10月10日(日)	A組	オリエンテーリング	小金井公園	計画どおり実施		12人
14	10月24日(日)	B組			計画どおり実施		5人
<b>当初の計画はA組、B組に分かれての活動であったが、11月以降は全員で集まって活動した。</b>							
15	11月14日(日)	A組	キックベースボール	小金井特支ミニトラック	防災学習	公民館緑分館	23人
16	11月28日(日)	B組			ボッチャ競技	公民館緑分館	25人
17	12月12日(日)	A組	俳句・謎解き	グリーンピア	俳句・謎解き	グリーンピア	17人
18	12月26日(日)	B組			俳句・謎解き	グリーンピア	23人
19	1月9日(日)	A組	書初め・カルタ	公民館緑分館	テーブルボウリング	公民館緑分館	18人
20	1月23日(日)	B組			<中止>		—
21	2月13日(日)	A組	美術(コラージュ、水墨画)	公民館緑分館	<中止>		—
22	2月27日(日)	B組			<中止>		—
23	3月5日(土)※2	修学旅行		冬桜の宿 川の博物館	ボッチャ競技に変更<中止>		—
24	3月6日(日)※2	修学旅行			オリエンテーリングに変更<中止>		—
25	3月27日(日)	修了式		公民館緑分館	テーブルボウリング&修了式		20人

※1 従前1泊2日のサマーキャンプを実施していたが、公民館緑分館での宿泊利用ができないため、今年度は宿泊を伴わない形式で実施する計画であった。

※2 宿泊を伴う行事であるため、感染拡大状況を踏まえ中止とした。

## 本館

成人学校	菜園教室
------	------

**目 的** 額に汗しながら土に親しみ、野菜の共同栽培を通じて作る喜びを分かち合います。また、土起こしから収穫までを体験しながら、「食」・「農」・「自然」・「人の和」などに目を啓き、認識を深めることを目的とします。

**日 程** 令和3年4月14日から令和4年3月9日までの原則毎週水曜日  
(全40回)  
午前10時から正午まで  
夏季期間7月1日から9月15日までは午前9時から11時まで

**講 師** 泉 富夫さん (農業研究家)

**内 容** 野菜の共同栽培、収穫、学習会

**場 所** ふれあい農園 (中町2丁目22番)、公民館本館他

**参加費** 前期3,000円、後期3,000円 (共に種苗代など)

**募集方法** 市報3月15号、月刊こうみんかん3月号、ポスター、チラシ  
3月23日 (必着) までに往復はがきにて申込み

**人 数** 募集 15人 応募 32人  
受講 15人 (男性 6人、女性9人)  
延べ参加者 570人

**担当企画実行委員** 宗像 高子

**担当職員** 金子 康幸

**担当職員感想** 今年度もコロナ禍で収穫祭や野外研修が中止となる不本意な結果になってしまいました。受講者からも閉講式の時に収穫祭や野外研修をやりたかったという声を多数いただきました。

来年度こそは、コロナが収束して菜園教室のイベントが実施できるように願いたいものです。

**参加者感想** ○毎月市報を見て自分が参加したい教室があるとうれしくなり参加させていただき、楽しみにしています。

色々な講座をこれからもよろしくお願ひします。

○公民館での学習を通じて、地元小金井の多くの人と知り合う機会がありました。

また、小金井の良さを知る機会を与えていただきました。

## 本 館

### 市民講座

### 冬をのりこえる温活講座

**目 的** 冷えが引き起こすトラブル、自分でできる対策法などを学び、慢性的な冷えに悩む体質改善を促すことを目的とする。

**日 程** 令和4年3月6日（土）午後2時から4時まで  
※当初、令和4年2月5日（土）に実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、上記の日程に変更した。

**内 容** 冷え症対策の講義と手のマッサージ実習

**講 師** 若林 悦子さん（温活ホリスティック講師）

**募集方法** 市報1月1日号、月刊こうみんかん1月号、市ホームページ、ツイッター、ポスター、チラシ、申し込みは電話、または窓口で

**人 数** 募 集 20人（申込順） 応 募 20人  
受 講 15人（男性1人、女性14人）

**担当企画実行委員** 藤原 美知江

**担当職員** 金子 康幸

**担当者感想** 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、日程が変更となってしまった。テーマ的には、遅い講座になってしまったが、参加者の方からは延期してでも開催してありがたいという言葉もいただき、実施して良かったと思います。

**参加者感想**

- とてもていねいに細かく教えて頂けて良かったです。日常生活も忘れないうちに実践したいと思います。
- コロナで曜日変化有りも、本日講座を開講していただき有難うございました。
- 今まで色々な公民館講演に参加して、元気でいられるのも今があると思います。
- 活発な質問が沢山あって参考になった。
- 日々、気にかけて生活されている様子で年代を感じた。

## 貫井南分館

成人学校	「革を裁断、縫製 レザークラフト講座 ～眼鏡ケース製作～Vol. 2」
------	--

**目的** 手先を使うことによって脳を活性化、脳トレにも繋がるレザークラフトを体験する。参加者の交流を深め、地域コミュニケーションを図る。

**日程** 令和4年3月29日（火）午前10時～正午

**内容** 革生地から裁断、縫製を行い、眼鏡ケースを製作する。

**講師** 南 由紀子さん（革工房こじか）

**ところ** 公民館貫井南分館 学習室A

**参加費** 1,300円（材料費）

**募集方法** 市報3月1日号 月刊こうみんかん3月号 チラシ 市ホームページ Twitter

申込多数の場合、抽選

電話または直接貫井南分館窓口まで

**人数** 募集 8人 応募21人（男性2人、女性19人）

受講 8人（男性2人、女性6人） 参加率100%

参加年代 40代 1人 50代 2人 60代 2人 70代 3人

**担当企画実行委員** 金ヶ江 博紀

**担当職員** 永嶋 汐美

**担当職員感想** まっさらな革生地から好みのものを選び、木槌で工具を叩いて穴をあけて、縫製。縫製するための準備の用具などは特殊ですが、針を扱うことができれば誰でも作ることが可能です。今回も様々な年代の参加者が全員完成することができました。

### 参加者感想

- ・講師は一人ひとり丁寧に見てくださり、良かったです。
- ・思ったより簡単で、とても楽しかったです。ありがとうございました。
- ・初めての体験でしたが、作ることができうれしかったです。
- ・予想したものと異なったが、終わりよければすべて良し！



講座の様子



完成作品

## 貫井南分館

### 市民講座

### 「野外活動体験から防災・環境知識を楽しく学ぶ」

**目的** 火起しや簡単な野外料理を体験することにより、自然環境や防災知識を学習する。

#### とき・ところ・内容

令和4年3月20日（日）午前10時～正午

「火起し体験と簡単なクラフト遊び」（座学及び実技）

令和4年3月27日（日）午前10時～午後3時

「めし袋で作ったご飯とレトルトカレー、

牛乳パックを使ったホットドッグ作り」

（座学及び実技）



**講師** 飯田 弘さん（東京都キャンプ協会元理事）

**募集方法** 市報3月1日号 月刊こうみんかん3月号、  
市HP、ポスター、チラシ、ツイッター

#### 応募・受講者人数等

募集人数 15人（申込順） 応募人数 15人

受講人数 14人（男性8人、女性6人） 受講率63%

参加年代 9歳以下4人 10代2人 30代1人 40代4人 70代3人

**担当企画実行委員** 大野 芳輝、高橋 陽子 **担当職員** 松本 浩明

#### 職員感想

袋めしでのご飯炊き、レトルトカレーも味の違う物を少しずつカレーのルーをよそって味に変化を付けることで楽しめることや避難場所でのクラフト遊びも、退屈な避難時生活では子どもから大人まで楽しく過ごすことができることも分かり、「目からうろこ」の学習ができたことは大変意義であった。

#### 参加者感想

○4つの火起こしが体験できてとっても楽しかった。やり方を教えてくれて良かった。たけこぷたーやかざぐるま楽しかった。レトルトカレーやホットドッグ、マシュマロが食べれて良かった。めし袋すごい。めし袋でお米がたけてすごい。ぶんぶんコマとぶんぶん飛行機楽しかった。普通のことでも、少し工夫したらとっても楽しむことができると知った。今日と先週学んだことを災害などあったらいかしたい。全部とっても楽しかった。

○とても楽しく学べました。また、次回があれば家族と是非、一緒に参加したいです。

○災害時に不安な気持ちを払拭できる楽しさを学べました。



## 貫井南分館

音楽鑑賞のつどい

「管楽器アンサンブル 午後のひととき」

**目的** さまざまな曲に積極的に触れ、曲との出会いを通じて音楽の聴き方（音楽の学び方—創造的な学習態度）を身に付ける。音楽の美しさをより豊かに味わうことができる感性を育て、一人ひとりが自発性や主体性を発揮できるようにする。

**日程** 令和4年3月26日（午後1時から午後2時30分まで）

**演奏曲** ガーシュインメドレー  
モーツァルト：ディベルティメント  
ビエルネ：パストラレー  
アーガイ：五つの優しいダンス  
ミオー：ルネ王の暖炉



**出演者** アンサンブル小金井

**場所** 公民館貫井南分館 学習室A・B

**募集方法** 市報、月刊こうみんかん、市HP、チラシ、ポスター、ツイッター

**対象** 市内在住、在勤、在学の方

**応募・受講者人数等** 募集 30人（先着順）  
受講 23人（男性4人、女性19人）

**担当企画実行委員** 今村 誠、高橋 陽子

**担当職員** 伊藤 修、松本 浩明

**担当職員感想** 応募は早めに定員となり、音楽鑑賞のニーズの高さを改めて実感したところである。当初計画していた内容と演者は変わったが、コロナ禍で音楽に触れる機会がなかった受講者にとって楽しんでいただけた企画のようで安心した。

**参加者感想** ○とにかく楽しかった。  
○とても良かったです。  
○楽しく聞かせていただきました。  
○ナマの音はやっぱりいいネ！

## 東 分 館

### 少年教育事業

### ひがし子ども囲碁教室

- 目 的** 市内の小学生を対象に、レベル別クラス編成指導で囲碁上達を目指します。また、囲碁を通してコミュニケーションや社会のルール・マナーを学ぶことも目的とします。
- 日 程** 4月3日から令和4年3月26日までの毎週土曜日  
午前10時から正午まで 全26回  
※新型コロナウイルス感染拡大のため5月から6月にかけて休講。さらに開始後もすぐに感染症拡大のため7月から9月まで予防措置のため休講。1月の末から感染拡大のため2回休講。2月上旬はステップリフト設置のため全館休館となり2回休講。
- 場 所** 公民館東分館 集会室A・B
- 講 師** 小金井うろの会
- 募集方法** 市報3月1日号、月刊こうみんかん3月号、チラシ、ポスター、市HP、東センターHP、東分館ツイッター  
多数抽選 往復はがきで受付
- 対 象** 市内在住・在学の小学生の方
- 人 数** 募集 10人 応募 9人 継続参加 21人  
受講 24人（男性16人、女性8人） 延べ参加者 371人
- 担当職員** 浅香 佳代子
- 担当職員感想** 囲碁教室が始まって今年度で12年。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、昨年に続いて開催回数が例年と比べて大幅に減少し、退会者も多かったことは残念でした。そんな中、受講者の中からアマチュア五段が誕生するなど、嬉しいニュースもありました。
- 参加者感想** ○囲碁で新しいお友だちができてうれしい。難しいけど楽しい。  
○6年間ありがとうございました。毎週囲碁が楽しかったです。  
○コロナ禍での対策をしながらの囲碁教室に、先生方、公民館のスタッフの方に感謝しています。

## 東 分 館

成人学校（公民館・  
図書館連携事業）

家読（うちどく）のススメ  
～家族で楽しむ読書のひととき～

**目 的** 家族みんなで、読書活動に取り組む「家読（うちどく）」。「家庭読書」の略語で、家族ふれあい読書、を意味し、読書をすることで家族のコミュニケーションを深めることを目的とした読書活動です。コロナ禍、家族の絆を深めながら、読書の重要性について認識を深める機会を提供することを通して、子どもの読書活動を支援することを目的とします。

**日 程** 3月12日（土） 午後2時から4時まで

**内 容** 家読の意義や方法、本の選び方のポイントについての講義を座学形式で行います。

**講 師** 佐川 二亮さん（家読推進プロジェクト代表）

**場 所** 公民館東分館 学習室A・B

**募集方法** 市報2月15日号、月刊こうみんかん2月号、チラシ、ポスター、市HP、東センターHP、東分館ツイッター  
申込順 電話または直接

**対 象** どなたでも

**人 数** 募集 20人  
応募 7人  
受講 6人（男性3人、女性3人）

**担当企画実行委員** 高坂 憲二郎

**担当職員** 倉本 恵子（公民館職員）、武井 真（図書館職員）

**担当職員感想** 「家読（うちどく）」をテーマに、取り組み方や本を選ぶポイント等について学びました。家族で本に親しむことの大切さについての理解を深めながら、子どもの読書活動の充実について考える講座となりました。

**参加者感想** ○夫も含めて家族全員で“家読”とても大事ななあと思いました。ただ読みきかせるだけでなく、感想を言い合う、しっかりと振り返りをする、家族でコミュニケーションを取ること、とても大切なことがいっぱいまっている時間だなあと思いました。実践もしますが、広めます！！ありがとうございました。

## 緑 分 館

### 子ども体験講座

### プロマジシャンが教える 親子で楽しむマジック教室

**目 的** 親子でマジックを習い、家族間のコミュニケーションの一助にさせていただく。

**日 程** 令和4年3月12日（土） 午前10時から正午まで

**内 容** プロのマジシャンに親子でマジックを習う。

**講 師** ノーヴ・ハッセル・アベさん（マジシャン）

**場 所** 公民館緑分館 学習室A・B・C

**募集方法** 市報1月15日号、月刊こうみんかん2月号、ポスター、チラシ、市HP、  
公民館ツイッター  
申込多数のときは抽選  
往復はがき、またはメール

**対 象** 市内在住・在勤・在学の小学生とその保護者

**人 数** 募集 10組20人 応募 47組98人 ※4組は兄弟、姉妹での申込  
受講 10組21人（男性15人、女性6人）※内1組は兄妹で参加

**担当企画実行委員** 大蔵 芳夫

**担当職員** 山本 ひろみ

**担当職員感想** 少し難しいマジックも、親子で相談しながら一生懸命練習している様子がとても微笑ましかった。

**参加者感想**

- 全部はじめてやったマジックで、やり方を教えてもらったらできて楽しかったです。
- マジックを5つも教えていただき、本当にありがとうございました。すごくおもしろくてびっくりしたので、いい体験ができました。
- 楽しくてびっくりした。
- 学校でマジック係をやっているようで、本を読んだり、YouTube を見たりしていましたが、実際に教えてもらう機会となり子どもも喜んでいました。工作も楽しかったようです。ありがとうございました。すごく楽しかったです。

## 貫井北分館

<b>青少年教育 事業</b>	<b>若者による自主講座 「森のボードゲーム この木、育つ木、売れる木です」</b>
---------------------	--

<b>目 的</b>	感染症予防対策に配慮して、ゲームを通して森について実際に行かなくても親しみ、学年や学校を超えた交流で親睦を深める。また若者当事者が自主講座を企画・実施を通してチームで協力・連携することの意義を学ぶ。
<b>日 程</b>	3月12日（土）午後2時から3時半まで
<b>内 容</b>	木が売れるまでをボードゲームで体験や、森を守るための間伐作業などの説明
<b>講 師</b>	宮村 連理 さん（東京学芸大学附属小金井中学校 教諭）
<b>場 所</b>	公民館貫井北分館 学習室A B
<b>対 象</b>	小学2年生から6年生の方
<b>募集方法</b>	市報2月1日号、ポスター・チラシ、市HP、貫井北センターHP、貫井北分館ツイッター 申込順 電話、メールまたは直接
<b>人 数</b>	募集16人 応募15人 受講12人(男性4人、女性8人)
<b>企画実行</b>	ソマプラチーム（東京学芸大学附属小金井中学2年生 鈴木杏、大重文乃、茨木なごみ、不川雄惺、相川雅門）
<b>担当職員</b>	伊藤 智代子
<b>担当職員感想</b>	企画チームが参加者の視点にたって対応し、対話を重ねて交流を深め、有意義な時間を創り上げている様子が伺えました。
<b>参加者感想</b>	○ボードゲームでお金をためる時、ドキドキして楽しかったです。 ○森のことがよくわかりました。ゲームをして、とてもおもしろかったです。針葉樹よりも広葉樹のほうが値段が高いことを知りました。
<b>企画者感想</b>	○大変だった分、達成感がとても大きかったです。「2回目はないの？」と言ってもらったときは、とてもうれしかったです ○小学生向けのゲームというのを保ちながら、より実際の森に近づけるのも色々工夫をこらしました。 ○実施する前は、企画段階でも、あまり自分がやるんだという実感を持っていなかったのですが、実施後は、自分がやり切ったという達成感が持てて良かったです。 ○目線の高さを合わせるなどの、小さい子と話すときの対応が上手になった気がする。

## 貫井北分館

<b>青少年教育事業</b>	<b>若者による自主講座</b> <b>「木育ガール キキちゃんとマイ木琴を作ろう！」</b> <b>～木育×STEAM教育～</b>
----------------	---

<b>目 的</b>	感染症予防対策に配慮して、「木とふれあい、木に学び、木でつながる」木育と、主体的に考え、課題を解決するSTEAM教育を体感する。また学年や学校を超えた交流し親睦を深める。また若者当事者が自主講座を企画・実施を通してチームで協力・連携することの意義を学ぶ。
<b>日 程</b>	3月13日（日）午後1時から4時まで
<b>内 容</b>	どんな木琴を作りたいかを考えてから、さしがねを使ってせん引きをし、のこぎりで切ってやすりで磨くなど、6つの工程を経て、マイ木琴をつくる。また、間伐をすることで森を守ることなど環境について学ぶ。
<b>講 師</b>	宮村 連理 さん（東京学芸大学附属小金井中学校 教諭） 前田 彩世 さん（STEAMインストラクター、東京学芸大学4年生）
<b>場 所</b>	公民館貫井北分館 創作室
<b>対 象</b>	市内在住・在学の小学4年生以上の小学生
<b>募集方法</b>	市報2月1日号、ポスター・チラシ、市HP、貫井北センターHP、貫井北分館ツイッター 申込順 電話、メールまたは直接
<b>人 数</b>	募集8人 応募12人 受講8人(男性2人、女性6人)
<b>企画実行</b>	木育の会(東京学芸大学 加藤 結人、東京学芸大学附属小金井中学校 川又慶子)
<b>担当職員</b>	伊藤 智代子
<b>担当職員感想</b>	募集開始日午前中には定員達成。小学生に工作や木工に興味関心が高いことが伺えました。
<b>参加者感想</b>	○くぎを打ったり、色をぬったりしたところが楽しかったです。 ○木きんを作るのが楽しかった。他にも環境学習ができてよかった。またやりたいと思った。 ○音の高さを調べたり、音の変化についてが楽しかったです。 ○横にならべてあるのが木きんだとおもっていたけど、丸くなっているのも木きんなんだとわかった！！
<b>企画者感想</b>	○講座ができたことで自分の経験になって、自信につながりました。子どもたちも喜んでくれたようで、その姿を見て今回できて良かったと改めて思いました。

## 貫井北分館

<b>青少年 教育事業</b>	<b>世代間交流の推進 サイエンス・カフェ どうなる？月開発の未来 ～みんなで考え、語り合おう～</b>
---------------------	--

**目 的** 科学をわかりやすく説明する日本科学未来館 科学コミュニケーターの方から、科学のおもしろさ、身近な生活の中の科学、みんなが生きやすい社会について気軽に語りあえるコミュニケーションの場で、科学者と参加者が語り合い交流を深める。

**日 程** 3月19日（土）午後2時から4時まで

**内 容** 月開発の現状を聞き、宇宙や未来について科学者と参加者が語り合い交流を深める。

**講 師** 中島 朋 さん（日本科学未来館 科学コミュニケーター）

**場 所** 公民館貫井北分館 学習室C・D

**対 象** 小学校5年生以上30歳くらいまでの方

**募集方法** 市報こがねい2月15日号、ポスター・チラシ、市HP、貫井北センターHP、貫井北分館ツイッター 申込順 電話、メールまたは直接

**人 数** 募集8人 応募5人 受講4人(男性0人、女性4人)

**担当職員** 伊藤 智代子

**担当職員感想** きたまちYAサポーターからの「月や宇宙開発関連のサイエンスカフェ」の要望があり、企画・実施しました。まん延防止等重点措置期間中の開催のため、定員を16人から8人に変更。中学2年生から高校3年生の女性4人が、講師も含め対面での対話を楽しみました。

**参加者感想**

- 宇宙開発についてあまり詳しくなかったのですが、新たな角度から話を進めることで、新たな知見をえることができました
- 私は将来宇宙専門のサイエンスコミュニケーター、もしくは学芸員になろうと思っているので、実際にお話をする事ができて、とても楽しかったです。月をはじめとして宇宙の開発について考えられる良い機会でした。ありがとうございました！
- 色んなことが知れて楽しかったです。話し合うのも楽しかったです。ごちそうさまでした。
- 楽しみにしています。これからも新しい講座を企画してください。その時は参加します！



## 貫井北分館

<b>青少年 教育事業</b>	<b>世代間交流の推進 サイエンス・カフェ コミュニケーションを科学する ～だれもが暮らしやすい社会のこと～</b>
---------------------	--

**目 的** 科学をわかりやすく説明する日本科学未来館 科学コミュニケーターの方から、科学のおもしろさ、身近な生活の中の科学、みんなが生きやすい社会について気軽に語りあえるコミュニケーションの場で、科学者と参加者が語り合い交流を深める。

**日 程** 3月20日（日）午後2時から4時まで

**内 容** ロボットと人とでどう違うかを、“空気の読み方”という視点で研究者と考え、だれもが暮らしやすい社会やインクルーシブ（多様性）について科学者と参加者同士の語り合い交流を深める。

**講 師** 田中 沙紀子さん（日本科学未来館 科学コミュニケーター）

**場 所** 公民館貫井北分館 学習室C・D

**対 象** 小学校5年生以上30歳くらいまでの方

**募集方法** 市報こがねい2月15日号、ポスター・チラシ、市HP、貫井北センターHP、貫井北分館ツイッター 申込順 電話、メールまたは直接

**人 数** 募集8人 応募6人 受講5人(男性0人、女性5人)

**担当職員** 伊藤 智代子

**担当職員感想** きたまちYAサポーターからの「日常の中にある科学をわかりやすく聴きたい」をサイエンスカフェとして実施しました。まん延防止等重点措置期間中の開催のため、定員を16人から8人に変更。小学6年生から高校3年生が対面での対話を楽しみました。

**参加者感想**

- コミュニケーションについて新たな視点から考えられて楽しかった。
- コミュニケーション一つとっても様々な方向からの見方があったり、問題点やその解決策が見つかったりして勉強になりました。
- 手話部に所属していたからこそできるコミュニケーションも今までありましたが、それ以上に大切になってくるコミュニケーションもあると思うので、自分の関わり方について考えていこうと思いました。
- 人生にずっと関わってくるものなので、時々問題ははっせいするけれど、その都度解決していきたいです。
- コミュニケーションは積極的に取り入れていくべきだと思った。世界中の人々と仲良くなる！！



## 貫井北分館

### 男女共同参画事業

### きたまち保育サポーターによる保育

**目 的** 公民館で子育て中の保護者やお子さんの子育て・子育て支援、および子育てに興味がある方や子育てが終わった方の生涯学習、また保育サポーター一間の交流を通じた地域の共助とコミュニティづくり。

**日 程** 令和3年10月3日（日）から令和4年1月24日（月）まで

**内 容** 保育室の設営、保育の実施、「保育の記録」の作成、おもちゃの管理

#### 講座名・きたまち保育サポーター数・保育したお子さんの人数

事業名	講座名	回数	保育 サポーター (延数)	保育したお子さん（人）				
				募集	参加 (延数)	男子 (延数)	女子 (延数)	
貫井北分館	子ども・子育て支援	親子で楽しむ家庭菜園*	3	0	5	0	0	0
		家族も自分も元気になる！ポジティブになれるコミュニケーション	4	12	10	25	9	16
	男女共同参画講座	第5回きたまち保育サポーター講座	6	13	5	8	7	1
		ムーミンの物語に魅せられて	1	2	5	2	2	0
		パラスポーツと義足の世界	1	2	10	1	1	0
東分館	男女共同参画講座	お薬との上手な付き合い方	1	2	5	1	1	0
		今すぐできるアウトドア防災講座 (2回目は応募者がなく中止)	2	3	5	1	1	0
	地域子育て応援講座	よく分かる!食品表示	1	3	5	5	3	2
		気候変動は待ったなし!	1	3	5	3	2	1
本館	子どもの人権講座*	5	0	5	0	0	0	
	親子でクラフトコースターを作ろう*	1	0	5	0	0	0	
市民がつくる自主講座	お母さん時間を楽しもう	2	6	8	7	0	7	
	「街の木でモノ作り」	2	3	15	2	2	0	
	郷土の文化を知ろう*	3	0	15	0	0	0	
合計		31	43	155	46	26	20	

\*:募集したが保育希望者なし

**対 象 者** おおむね2歳以上のお子さん

**担当職員** 伊藤 智代子

**担当職員感想** 感染症対策のため保育の募集人数状況によって減らすなど感染症対策をして対応。保育利用者の方からは、「自分と向き合う時間ができてよかった。」「また保育付き講座を利用したい」という感想がありました。第5回きたまち保育サポーター講座には、第1期から4期のサポーターがフォローアップ研修として参加。保育室での課題などを講師や参加者と共有し、保護者、お子さん、サポーターの三者の視点で安心・安全に保育を実施できるよう学びを深めました。

## 貫井北分館

<b>成人学校</b>	<b>きたまちセンターの花づくり・緑化活動 きたまちセンターの花サポーター講座</b>
-------------	---

**目 的** きたまちセンターを飾る、花壇や鉢植えのメンテナンスをする花サポーターの養成。また、自宅でも応用できる鉢を使った寄せ植えと庭造りの簡単な方法を学び、実習や野外研修などを通じて受講者間の交流をはかる。

### 日程・内容・講師

回	日程	内容	講師
1	9/1 (水) 午前10時～正午	オリエンテーションと 土の再生	尾路 紀恵さん (グリーンアドバイザー)
2	10/6 (水) 午前10時～正午	寄せ植えの基本	尾路 紀恵さん (グリーンアドバイザー)
3	10/20 (水) 午前10時～正午	堆肥・肥料の混ぜ込みで 土づくり	なし
4	11/10 (水) 午前10時～正午	きたまちセンターの 植物植込み実習	尾路 紀恵さん (グリーンアドバイザー)
5	11/17 (水) 午前8時30分～午後5時	野外研修 (ぐんまフラワーパーク)	園内ガイド
6	12/1 (水) 午前10時～正午	フラワーアレンジメント	森 このみさん (生花店主)
7	1/12 (水) 午前10時～正午	冬の花の楽しみ方と 観葉植物の楽しみ方	尾路 紀恵さん (グリーンアドバイザー)
8	2/2 (水) 午前10時～正午	寄せ植えのデザイン	尾路 紀恵さん (グリーンアドバイザー)
9	3/16 (水) ※希望時間による	私の寄せ植えづくり (オリーブガーデン)	尾路 紀恵さん (グリーンアドバイザー)
10	3/30 (水) 午前10時～正午	講座振り返り	なし

※午前9時から10時30分まで、午前10時30分から正午まで、午後1時から2時30分まで、午後2時30分から4時までのいずれか

**場 所** 公民館貫井北分館 学習室A・Bほか

**募集方法** 市報8月1日号、月刊こうみんかん8月号、チラシ、ポスター、市HP、貫井北センターHP、貫井北分館ツイッター  
申込順 電話または直接

**対 象** 市内在住・在勤・在学の方

**人 数** 募集 16人 応募 21人

受講 16人(男性1人 女性15人) 延べ参加者 130人

**担当企画実行委員** 閑野 寿幸、原 賢一

**担当職員** 水本 好恵

**担当職員感想** 定期的な水やり当番で、チーム力を発揮できた講座となりました。

**参加者感想** ○内容が充実しており大変参考になりました。これからの手入れなどに役に立ちます。ありがとうございました。又、この講座に参加出来たことに感謝しております。

## 貫井北分館

### 市民講座

### 地域福祉のための講座 アウトドア認知症カフェぬくいきた

**目的** 認知症の方やその家族が気軽に相談でき、安心して過ごせる場を作ること。地域の住民がだれでも参加でき、あたたかい交流が生まれる場を作ること。介護者サポーターがやりがいを感じ、カフェを通じ成長することを目標とする。

**日程** 4月5日から3月7日までの毎月第1月曜日  
※8月・1月除く（全10回） 午前10時から正午まで  
※5月10日は緊急事態宣言発令で休館のため、2月4日はまん延防止重点措置期間かつ感染拡大のため中止

**内容** 公民館貫井北分館を出発し、市内の店舗をスタンプラリー形式で回る。スタンプラリーの様子や近況を掲載したニュースレターを発行する。

**参加費** 500円（スタンプラリー景品代）

**募集方法** 各回期限までにハガキで応募

**人数** 下表のとおり

日程	参加者	サポーター	日程	参加者	サポーター
4/5	8	4	6/7	7	2
7/5	8	6	9/6	8	4
10/4	9	2	11/1	7	5
12/6	8	3	3/7	7	3

延べ参加者 62人（男性8人、女性54人）

延べサポーター29人

**担当企画実行委員** 閑野 寿幸

**担当職員** 野津 幸代

**担当職員感想** 市内で介護者支援をしているNPO法人UPTREEとの共催でした。コロナ禍でも居場所を作り、地域の見守りにつなげることを目指して開催しました。良いモデルが作れたと思います。

**参加者感想**

- 家に閉じこもっているのでも、1ヶ月に1回、皆と会うのが楽しい。このカフェのお陰で生き延びました。
- いろいろな人と回って、おしゃべりができて楽しかった。
- ニュースレターをととても楽しみにしています。隅から隅まで読んで、全部取ってあります。

## 貫井北分館

<b>図書館貫井北分室・ 公民館貫井北分館連携事業</b>	<b>きたまちYAサポーター・ きたまちYAひろば</b>
-----------------------------------	-----------------------------------

**目 的** 図書館と公民館の連携事業で、社会教育施設の活用促進と、若者当事者が「きたまちYAサポーター」として参画し学年や学校を超えた仲間と居場所づくりにつなげる。

### 日程・内容

回	日程	内 容
1	5/18	新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止
2	7/18	「ブック de トーク」夏におススメの本とポップづくり、年間計画など
3	9/19	「ミュージック de トーク」→新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止
4	11/21	「おすすめのファンタジー」読書の秋に楽しめるファンタジー作品など
5	12/19	「映画 de トーク」映画をテーマにした本や音楽などの紹介
6	3/20	「グルメ de トーク」グルメに関する本の紹介と一年の振り返り

※いずれも日曜日、午前10時から正午まで

**場 所** 公民館貫井北分館 学習室 CD

**募集方法** 市報5月1日号、ポスター、チラシ、貫井北センターHP、公民館貫井北分館ツイッター、図書館貫井北分室ツイッター  
申込順 電話、メールまたは直接

**対 象 者** 小学校高学年から25歳くらいまでの方

**人 数** 中学1年生から高校1年生 6人（男性2人、女性4人）  
延べ参加者 11人

**担当職員** 公民館貫井北分館 伊藤 智代子  
図書館貫井北分室 苫米地 さやか、宇佐見 千映子

**参加者感想**

- 学校行事と重なり、出られない日も多かったのですが、とても楽しく活動することができました。1年間ありがとうございました。
- 今年も、あまり参加できなかったのですが、様々な本に出合えて楽しかったです。早くコロナが収束して、来年こそはホットケーキを焼いて食べる会が復活して欲しいです…
- テスト期間が重なって、ほとんど出ることが出来ませんでした、出られた回は、とても楽しかったです。
- コロナの影響が多くある中、改めて本／読書の楽しさ、素晴らしさに気付ける場になりました。とても楽しかったです！

## 貫井北分館

<b>図書館貫井北分室 公民館貫井北分館 連携事業</b>	<b>本の世界をめぐる冒険～ナカムラクニオ さんと「場作り体験」を学ぼう～</b>
---------------------------------------	---

**目 的** 「人と本をつなぐ図書館」と「人と人をつなぐ公民館」の連携事業として、「コミュニティの場づくり」の達人でもある講師を招いて開催する。市民が集い、出会う「場づくり」のヒントを学び合う。

**日 程** 3月5日（土）午後2時から4時40分まで

**内 容** 本にまつわるエピソードなど、対話を通じてのトーク講演会  
(1) 著書「本の世界をめぐる冒険」やカフェでの活動紹介（40分間）  
(2) 講師への質問を通じての対話

**講 師** 中村 邦夫（ブックカフェ6次元オーナー、作家、アーティスト）

**場 所** 公民館貫井北分館 北町ホール

**募集方法** 市報2月1日号、カラーチラシ、ポスター、貫井北センターHP、  
貫井北分館ツイッター  
申込順 電話またはメールで直接図書館貫井北分室へ

**対 象** 図書館読み聞かせボランティア及び関心がある市民の方

**人 数** 募集30人 応募22人 受講22人

**担当職員** 公民館貫井北分館 村山 孝一  
図書館貫井北分室 田中 肇、庄司 由利子

**担当職員感想** 多分野にわたる専門知識の深さ、世界中を旅された経験からの話だけでなく、その巧みな話術から終始説得力が感じられた。参加全員からしっかりと質問という形式でお話ししていただく進行方法なため、その会場の雰囲気から参加者の満足度は高かったように感じられた。

**参加者感想**

- とても楽しい充実した時間でした。本・旅・文化、そういったものを語ったり、聞いたりできる空間づくり、場づくりに興味があり参加させていただきましたが、ナカムラさんのパワーあふれる好奇心に触れて、まずは自分自身が好奇心や興味、好きなものを追求して楽しんでいくことが大切だと感じました。
- ナカムラさんの熱意、集まった人たちも熱い気持ちをたくさん聞くことができました。ナカムラさんの話がどんどん進んでいき、止むことがないのにも驚き。

## 貫井北分館

<b>図書館貫井北分室 公民館貫井北分館 連携事業</b>	<b>「死」と「生」を絵本で語り合う デスカフェ</b>
---------------------------------------	----------------------------------

**目的** 超高齢社会・多死社会を迎えて、死が身近な日常となる社会になりつつある。カジュアルに死を語るデスカフェの意義について、講演と死を題材とした絵本読書会を通じて学び合う。

**日程** 3月19日（土）午後1時から5時まで

**内容** 第一部 講演会「多死社会へのアプローチとしての死の対話」  
第二部 読書会 絵本課題図書『くまとやまねこ』  
湯本香樹実／作・酒井駒子／絵・河出書房新社を読み込み

**講師** 吉川 直人さん（京都女子大学助教）  
小口 千英さん（ファシリテーター）

**場所** 公民館貫井北分館 学習室A Bを予定していたが、コロナ禍の影響で講師が来館出来なくなる。その代案としてオンラインでの開催に変更。

**募集方法** カラーチラシ、貫井北センターHP、貫井北分館ツイッター  
申込順 電話またはメールで直接図書館貫井北分室へ

**対象** どなたでも

**人数** 募集14人 応募10人 受講10人

**担当職員** 公民館貫井北分館 村山 孝一  
図書館貫井北分室 田中 肇、新井 剛

**担当職員感想** 読書会では絵本をツールにすることで、普段話しにくい内容や自分自身の思いが整理されてゆくように感じられた。これは、定員を少人数に設定したことで話しやすい雰囲気オンラインによって醸成された効果と思われる。

**参加者感想**

- 同じ本でも、読む人によっていろいろな解釈があり、新しい発見がありました。
- 参加する度に、きっと自分が今まで関わってきた人が死んでしまったら自分は耐えられない、壊れてしなうのではないかと感じる。これからもデスカフェに参加して、いざというときは現実を受け止められるようにするための準備をしていきたい。
- 色々な見方、感じ方を知ることができたので、よかった。

公民館事業の計画

館名	事業名	目的	事業の特色	日時	講師(敬称略)	定員	備考
本館	青年学級「みんなの会」	障がいのある人を対象に、自立に必要な知識・技能を学ぶ機会を提供するとともに、スポーツ、芸術、レクリエーション等を楽しみながら学級生同士の交流と親睦を図る。	市内在住・在勤・在学の障害者で、ある程度身の回りのことが自分でできる15歳以上の方を対象として、1年間を通して様々な活動を行っている。	毎月第2・第4日曜日 13時～15時30分	矢野典嗣(元・小金井特支教諭)	50人	福祉会館の閉館に伴い、平成28年度以降、活動拠点を一小としていたが、バリアフリー施設ではないため令和3年度から公民館緑分館及び小金井市障害者福祉センターに変更した。
	高齢者学級「生きがい広場」	高齢期を有意義に過ごしていただくために開催し、学習と仲間作りの場を提供する。	5月から12月までの期間、様々なカテゴリーの学習を行い、孤立しがちな高齢者に対して、交流の場を提供することに寄与している。	5/10(火)～12/13(火) 火曜日、全15回 原則10時～12時	山本みなみ(鎌倉歴史文化交流館学芸員) 他	20人(多数抽選)	対象:市内在住の65歳以上の方
	利用団体のつどい「第41回公民館本館まつり」	日頃公民館本館を拠点に活動している利用団体が年に1回一堂に会し、平素の学習の成果を発表しあうと同時に、お互いの親睦と交流を図る。	別日に将棋大会も開催し、様々な分野の活動の発表の場となっている。	将棋大会 5/21(土) 本館まつり 5/28(土)・29(日)	【特別イベント】腹話術師いずみ、マスター木村 他	【特別イベント】30人(先着順)	
	子どもの人権講座「あなたは大切にされていますか?～私がわたしであるために～」	「子どもの人権」という観点から、子どもたちを取り巻く現代の様々な問題を取り上げる。子どもたちが他人を尊重し、互いに認め合う心を育てていくために、大人たちができることを考える。	昨年(令和3年)11月以降、準備会を立ち上げて令和4年3月まで合計6回の会議を開催し講座の企画を練った。	①6/2(木) ②6/4(土) ③6/11(土) ④6/29(水) ⑤7/2(土) いずれも10～12時	加藤雅江(杏林大学教授) ほか	各回38人(多数抽選、抽選後に空きがある場合は定員に達するまで申込順)	①～⑤保育付き ⑥7/2(土) 12:10～13:10 全体を振り返っておしゃべり・交流会を開催

館名	事業名	目的	事業の特色	日時	講師(敬称略)	定員	備考
貫井南分館	高齢者学級「けやき学級」	「生きがいある毎日のために」をテーマに共に学び、行動し、生きがいを見出すこと。また、班行動等により楽しく仲間づくりを進め、交流を図る。	5月から11月にかけて長期に17回色々なジャンルの座学に加え、バス移動での野外学習も行う。	5月18日から11月9日(8月を除く)水曜日の午前10時から正午 ※野外学習は午後5時頃帰着予定	山田有策さん(東京学芸大学名誉教授)他	20人(多数抽選)	【担当】松本
東分館	成人学校「沖縄の歴史と文化にふれる～本土復帰50周年～」	沖縄が日本に復帰し、令和4年に50周年を迎える。そこで、沖縄の歴史と文化にふれる講座を実施し、改めて沖縄について考える。	第1回は、「沖縄の歴史と文化」を概観し、第2回は東分館で活動をしている団体による三線や舞踊をご覧いただく。	6月9日(木)、23日(木)	大里知子さん(法政大学 沖縄文化研究所 准教授)ほか	24人	【鈴木】
	利用団体のつどい「第35回東センターまつり プレイベントフルートとアコーディオン サマーコンサート」	感染拡大予防の観点から3密を避けるために、東センターまつりのイベントを分散して行い、まつりのプレイベントという位置づけで開催する。	小さな子どもからシニアまでの幅広い世代を対象に、フルートとアコーディオンの調べを楽しむ機会を提供する。	6月30日(木)	フルート・アコーディオンユニット「風楽(ふうら)」	25人	【倉本】
	利用団体のつどい「第35回東センターまつり」	東分館の利用団体が日頃の活動成果を発表する機会を提供するために実施する。	感染拡大予防の観点から、イベント(コンサート)を6月30日に分散し開催する。	7月9日(土)、10日(日)	—	—	【鈴木、倉本、浅香】
緑分館	成人学校「寄せ植え入門」	寄せ植えの基礎知識、栽培方法を学ぶ。	「寄せ植えのコツ」について、座学、実習の両方で学ぶことで理解を深める。	5/16(月)・5/23(月) 全2回 10時～12時	尾路紀恵(グリーンアドバイザー)	24人 (多数抽選)	【林】
	高齢者学級「みどり・朴の樹学級」	地域の高齢者が、健康で心豊かに暮らすために、外出する機会、生きがいを見つける機会、趣味や学習を深める機会、仲間づくりの機会を提供する。	65歳以上の高齢者を対象に5月から12月まで同じメンバーで様々な分野の講座を受講する。	5月12日(木)～12月22日(木) 全16回 10時～12時	矢野典嗣(元都立小金井特別支援学校教諭)	20人 (多数抽選)	【山本】



館名	事業名	目的	事業の特色	日時	講師(敬称略)	定員	備考
貫井北分館	高齢者学級 市内の公民館5館の共通講座 「はなみずき学級」	高齢者が生涯学習実践の機会を得て、生きがいを創出。心身ともに健康で過ごせること。学級生同士の交流を深め、地域の発展を目指す。	高齢化社会を迎え、高齢者が様々なテーマの学習や体験活動により相互に親睦と交流を深め、地域の仲間づくりを通して生きがいのある生活を送るための連続講座。	5月12日(木)から 12月22日(木) 全15回 午前10時から正午	多田哲さん(小金井市文化財センター)ほか	20人	学習室ABほか 【村山】
	成人学校 市民講座 地域福祉のための講座 「ひとりで悩まず、みんなで認知症介護の座談会」	介護に関する情報の共有及び意見交換。	座談会を醸成させ、同じ悩みや不安に思う気持ちを和らげることで認知症介護者の孤立を防ぐ。	4月21日(木)から 9月15日(木) 全6回 午前10時から正午	松尾隆義さん(臨床心理士)	8人	学習室CD 【野津】
	成人学校 市民講座 「認知症カフェぬくいきた」	認知症の方や家族が気軽に相談できる場、安心して過ごせる場、地域の方々が参加されることで温かい交流の場の創出。	誰もが気軽に立ち寄りやすい公民館を会場とした、カフェの雰囲気。	4月4日(月)から 令和5年3月16日(木) 全11回 午前10時から正午	-	-	生活室AB 【野津】
	陶芸入門 「陶芸入門教室」	作陶から本焼きまでを経験することで、陶芸の基礎技術を学び、手作りの魅力を体験。創作活動を通じて地域のつながりと仲間づくりを深める。	はじめて陶芸をされる方々を対象とした講座。講座終了後、希望者は公民館で活動される陶芸サークルを紹介。参加しやすいように土曜日の開催、保育付きの講座を設定。	9月17日(土)から 11月19日(土) 全7回 午前10時から正午	東田茂正さん(陶芸家)	16人	創作室・窯室 学習室AB IT-AB(保育) ほか 【村山】
	図書館貫井北分室・公民館貫井北分館連携事業 若者コーナー連携事業 「きたまちYAひろば」	学年や学校を超えた仲間づくり及び居場所づくり。	図書館と公民館が連携により、社会教育施設の利用促進。若者当事者が「きたまちYAサポーター」として事業に参画。	5月22日(日)から 令和5年3月19日(日) 全6回 午前10時から正午	-	-	学習室CD 【伊藤】

## 1 公民館中長期計画の推進

公民館中長期計画に定める公民館の将来像（つどい、学び、つながる、地域の拠点（ひろば））の実現に向けて取り組み、また、課題とする公民館事業運営委託、公民館施設使用料の有料化について、引き続き具体的に検討を進める。

## 2 長期総合計画、生涯学習推進計画から教育委員会点検・評価までの繋がりを意識した公民館運営

長期総合計画・生涯学習推進計画に掲げる中長期的な展望を実現すべく公民館を運営し、また、公民館の目的（住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する）に則した事業を計画・実施し、P D C Aサイクルに基づく体系的な事業実施に努める。

## 3 公民館利用者の拡大を図り、活動の場の充実につなぐ

若者、子育て世代等新たな利用者が参加しやすい企画の実施に努め、また、世代間交流企画も積極的に進める等、公民館での学びがより充実するものになるよう模索、実践していく。

## 4 コロナ禍における公民館運営

新型コロナウイルス感染症等に柔軟に対応できる公民館運営を目指し、公民館主催事業の検討や、情報発信の方法等、これまでの慣例にとらわれることなく実践できるよう引き続き検討する。

## 5 I C Tを活用した公民館運営

公民館に設置したW i F i環境を活用し、講座管理システムを積極的に利用したアウトリーチ型事業の構築を検討し、実施していく。

## 6 公民館職員の育成

公民館職員は、公民館活動の核となる市民を支援、援助する役割を担うため、自己のスキルアップに努め、社会教育の推進に注力する。